

スキー大国オーストリアの人々にとって、
トニー・ザイラーはフグスーパースターは、
悲運の王者、カール・シュランツである。

トニーの全盛時代、1957年のアールベルグ
カンダハーレースの滑降で優勝して、18歳の
少年選手は、その時から、スキー強国オース
トリアのエースとして、数多くの栄光を積み
上げることが、何故かオリンピックの金メダル
にけちに入れることができなかった。
何度も目の挑戦となる、1972年札幌では、フ

口か、アマチュアかの激論の末、カーには、100
によつて出場を拒否されて、女度目でチキッ
るは万の金メダルを、非かしてしまふ。

「貧乏人いひ」で、金メダルのチャンスはふえて
欲しい」と言ひ、残して礼帽を去つて、カーは、
ウィーン空港から市内までを埋めつくして50万
人の人々で迎へられ、永遠のスーパースター
とほつた。